

## 4 学年 4 組 総合的な学習の時間指導案

指導者 千葉市立みつわ台南小学校 田中 信彦

### 1 単元名 野菜はかせになろう

#### 2 単元について

児童は生活科の学習やこれまでの生活のなかで、身近に見られる植物を観察したり、アサガオ、サツマイモ、ミニトマト、パンジー、チューリップなどの草花や野菜を育てたりした経験をしてきている。

3年生の理科「植物をそだてよう(1)」から「植物をそだてよう(4)」までの単元では、ヒマワリやホウセンカの2種類の植物を中心教材として取り上げ、種まきから枯れるまでの一生を継続して比較しながら観察し、植物が育つ順序や植物の体のつくりについて調べた。ヒマワリやホウセンカのほかに、マリーゴールド、オクラなども一緒に栽培し、相違点や共通点を比べながら学習を進めた。

また、4年生の理科「季節と生き物(春)～(冬)」や「身近な動植物」の学習を進めている。

ここでは、春から夏にかけて育てられる野菜にはどんなものがあるか調べ2種類選び、種のをようすを調べたり、大きく育てるためにはどんなことに気を付けたらよいかインターネットや図書室の本や図鑑などで調べさせる中で意欲を高め、ポットやプランターに種をまかせたい。

本時では、芽生えや成長のようすを観察したあと、一人一人の鉢に植えかえ、種まきから枯れるまでの一生を継続して世話をしたり観察したりする中で成長の様子を知るとともに収穫することの喜びを味わわせたい。自分が育てることに決めた野菜の育ち方について見通しをもち、野菜を育てていこうとする意欲が高められると考える。観察カードの書き方については、理科での学習を生かして、葉の色、形、大きさ、数、茎の色や長さなどについて一つ一つ具体的に指導していきたい。栽培方法や疑問について調べたり、友達と情報交換をしたりするなどの多様な活動を経験させたい。

収穫した野菜については、どのように調理したらよいか調べ、実際に調理し食べるところまでいきたい。

#### 3 単元の目標

身近な野菜について興味・関心をもって自らの課題に向かって進んで活動することができる。そのために、必要な情報を集めたり、選択の仕方を身に付けたり、適切に活用したりすることができる。野菜づくりの活動を通して生命の尊さに気付かせ、自然を愛護する態度や気持ちを育てる。

#### 4 指導計画(1 3時間扱い)

	学習活動と内容	時配
第一次	自分の育てたいものを決め、テーマを決定する。 ・どんな野菜が春から夏に育てられるか知る。 ・テーマを決め、活動の見通しをもつ。 自分の育てる野菜について必要な情報を集める。	5
第二次	自分が育てたい野菜の種をまく。苗から育てるものについて知り購入する。 ・育つようすと鉢や学年園への植えかえ方や種のまき方を知り、育てる植物の種をまく。 ・種まきをした2つの野菜や苗を自分の鉢や学年園に植えかえる。 ・収穫した野菜の料理の方法を知り、野菜を使って調理する。	8

#### 5 本時の指導(6～7 / 1 3)

##### (1) 目標

たねまきをした、オクラ、二十日大根、カブ、ホウレンソウ、ニンジン、インゲンマメ、トウ

モロコシなどの成長のようすを観察したあと、ポット植えの苗とともに、プランターや鉢や学年園に植えかえ、今後の学校園活動に役立てることができる。

(2) 展開

過程	学 習 活 動 と 内 容	教 師 の 支 援
導 入 展	<p>1. 本時の活動の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>たねまきをしたオクラ、二十日大根、カブ、ホウレンソウ、ニンジン、インゲンマメ、トウモロコシなどの芽生えのようす観察しよう。そして、今まで種から育ててきた野菜やポット植えの野菜をプランターや鉢、学年園等に植えかけよう。</p> </div> <p>2. 芽生えや成長のようすを観察する。</p>	<p>○育ててきた野菜の成長のようすを確認し、一鉢栽培の鉢や学年園に植えかえ、収穫の楽しみを持たせることで本時の意欲化を図る。</p> <p>○2種類の野菜の芽生えのにているところや違うところをよく見て観察するよう助言する。</p>
開 ま と め	<p>(本時)</p> <p>3. 学年園の整備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草取り</li> <li>・肥料、腐葉土入れと土の耕し</li> <li>・うね作り</li> </ul> <p>※定植のおよそ2週間前に苦土石灰をまき中和しておく。</p> <p>4. 育ててきた植物を一鉢栽培の鉢に植えかえる。</p> <p>5. インゲンマメ、トウモロコシ、オクラ、カブなどを学年園に植える。残ったほうを一鉢栽培の鉢に植えかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オクラ、インゲンマメ、ニンジン</li> <li>・・・一鉢に2株、株間20cm</li> <li>・トウモロコシ</li> <li>・・・一鉢に1株、株間40cm</li> <li>・水やり</li> </ul> <p>6. 本時の活動を振り返る。</p>	<p>○作業の手順を説明し、道具の安全な使い方を助言する。</p> <p>○耕す中でよく空気と混ぜ、土を柔らかくすることを説明する。</p> <p>○一鉢栽培の土も前もって学年園の中に入れておき、耕したあと、鉢に土を入れておく。</p> <p>○ビニルポットで育てた苗は底に根が回っていることもあるので、余分な根を優しくほぐしてあげて助言する。</p> <p>○ビニルポットで育てた本葉2～4枚になった苗が移植の適期なので、学年園に植える間隔を20～40cm程度にするように助言する。</p> <p>○株元の土をしっかり押さえてあるか確認する。</p> <p>○上手にできたことを賞賛し、花が咲き、実の収穫できることへの期待感を高める。</p> <p>○後片づけや汚れた場所はほうきで掃除させる。</p>

